

作成日 2014年9月8日

作成者 静岡市立大学建築学部 建築設計科 建築設計

確認日 2014年9月8日

確認者 静岡市立大学建築学部 建築設計科 建築設計

(1) 建物概要

建物名称	株式会社新機械技研新厚生・技術	敷地面積	13,151 m ²	
建物用途	事務所	建築面積	949 m ²	
建設地	静岡県浜松市	延床面積	3,767 m ²	
気候区分	地域区分IV	階数	地上4F	
地域・地区	工業地域	構造	S造	
竣工年	2015年7月 予定	平均居住人員	160 人	
		年間使用時間	2,160 時間/年	

(2-1) 環境性能評価結果 (バーチャート)

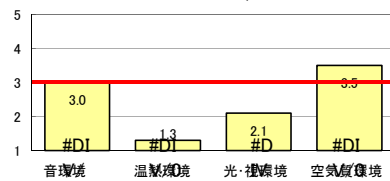
注1

Q 建築物の環境品質・性能 (居住環境のアメニティを向上させる性能評価)

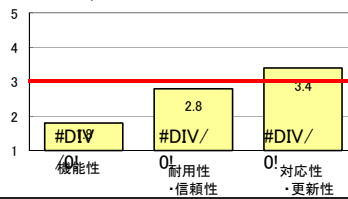
SQ= 2.3

Q-1 室内環境
スコア(評価点):

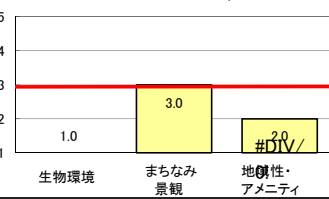
SQ1 = 2.3

Q-2 サービス性能
スコア(評価点):

SQ2 = 2.6

Q-3 室外環境 (敷地内)
スコア(評価点):

SQ3 = 2.1

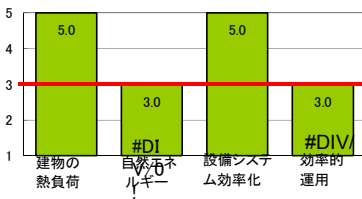


LR 建築物の環境負荷低減性 (環境負荷を低減させる性能評価)

SLR= 3.4

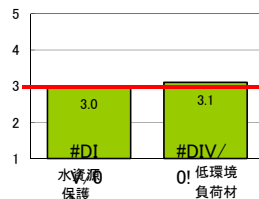
LR-1 エネルギー

スコア(評価点): SLR1 = 4.2



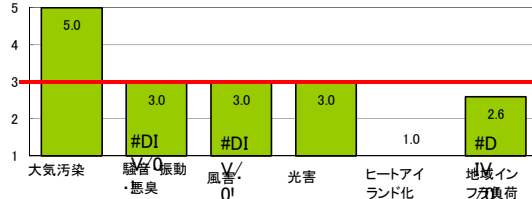
LR-2 資源・マテリアル

スコア(評価点): SLR2 = 3.1



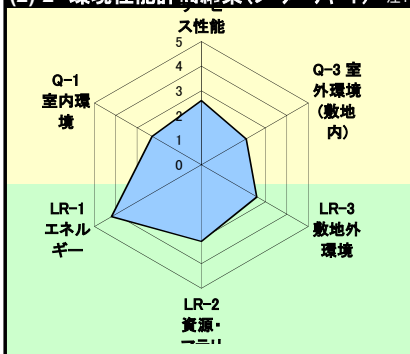
LR-3 敷地外環境

スコア(評価点): SLR3 = 2.6



(2-2) 環境性能評価結果 (レーダーチャート)

注1



(2-3) 環境性能効率

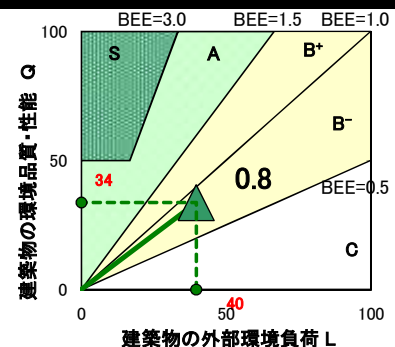
BEE

注2

$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質・性能 } Q}{\text{建築物の外部環境負荷 } L}$$

$$= \frac{25 \times (SQ - 1)}{25 \times (5 - SLR)}$$

$$= \frac{33.6}{39.7} = 0.8$$

凡例
備考

Q: Quality L: Load LR: Load Reduction SQ: Score of Q category SLR: Score of LR category

BEE: Building Environmental Efficiency

注1: 当該対象区における標準的な計画の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。敷地選定に関わる評価は対象外。

注2: Qは、環境品質・性能(Q)のスコアSQ(Q-1、Q-2、Q-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。

Lは、環境負荷低減性(LR)のスコアSLR(LR-1、LR-2、LR-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。

注3: (3)の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。